

亜くろいし 市議会たより



黒石商業高等学校の生徒の皆さんによる、「黒石」をテーマにした作品です。

表紙の写真を募集しています

- 応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- 応募作品…市内で撮影された風景、祭り、行事などのデジタル写真データ
- 応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までメールまたは持参してください。
- メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- 注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。詳細はホームページまたは議会事務局へお問い合わせください。



目次

第3回定例会議案審議	2～4
一般質問 など	4～7
委員会の活動、表彰 など	8

第3回定例会議案審議

議決された議案等の中から
主なものを紹介します。

○令和3年第3回定例会

会期21日間

9月2日～9月22日

市長提出議案37件及び議員提出議案3件の中から、主なものをお知らせします。
なお、各議員の賛否状況については、4頁に記載しています。
また、議案等の一覧は、黒石市議会ホームページで御覧になります。

令和2年度各会計決算

認定について



令和2年度一般会計、特別会計、財産区会計、公営企業会計の合計18件について、議員全員で構成する決算特別委員会で審査し、本会議において全て認定しました。

なお、一般会計及び国民健康保険特別会計については、起立採決により賛成多数で認定となりました。

令和2年度黒石市一般会計決算

歳入総額
2 1 2 億 1 2 3 万 2 6 1 0 円

歳出総額
2 0 1 億 5 7 9 1 万 6 6 5 1 円

歳入歳出差引額
1 0 億 4 3 3 1 万 5 9 5 9 円

令和3年度各会計

補正予算について



今回の定例会には、一般会計や特別会計などの補正予算全11件が提出され、いずれも承認及び原案のとおり可決しました。なお、一般会計補正予算の内容については次のとおりです。

令和3年度一般会計補正予算（第5号）では、ワクチン接種事業に係る医師等への報償費のほか、黒石よされ廻り踊り補助金や黒石ねぶた祭り参加団体への活動継続支援金、観光イベント新型コロナウイルス感染症対策支援金などが追加されました。

令和3年度一般会計補正予算（第6号）では、令和2年度一般会計決算で生じた剰余金の処分として、財政調整基金積立金や減債基金積立金などが増額されたほか、スポカライン黒石中央監視装置等改修工事費や津軽伝承芸館展示資料室改修工事費などが追加されました。

意見書の提出について (議員提出議案)



今回の定例会においては、議員提出議案として意見書が3件提出され、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。なお、可決した意見書は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、各関係省の大臣に提出しました。

○コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の蔓延によって来年度においても地方財政が厳しい状況に直面していることから、令和4年度地方税制改正に向けて、社会保障費が毎年度増大する現状を踏まえ、他の財政に不合理なしわ寄せがなされないよう十分な地方一般財源を確保することなど、5つの事項について実現するよう、国に強く要望しました。

○豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書

豪雪地帯の雪処理において、近年の少子高齢化や空き家の増加に加え、気候変動の影響によって多くの課題が明らかになってきていることから、これまでの国による特例措置の延長を求めるとともに、雪処理の担い手確保などの課題に対する財政支援制度の創設といった総合的な対策の実施を求めました。



○コロナ禍における米価下落に対し緊急対策を求める意見書

9月に発表された青森県の2021年産米の概算金が新型コロナウイルス感染症の影響によって前年に比べ大幅に下落したことを受け、「米価下落への農業者支援予算の十分な確保」、「水田活用の直接支払交付金の十分な予算確保と年内交付」、「過剰在庫の買入れによる米の需給環境の改善」の3つの事項についての緊急対策を、国に強く要望しました。



議案に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対、※は議長のため採決に加わっていません。
賛否が分かれた議案のみを掲載しております。

議案等名	採決結果	佐々木隆	黒石ナナ子	三上廣大	大平陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝雅昭	後藤秀憲	今大介	工藤和行	工藤俊広	北山一衛	中田博文	工藤和子	村上啓二	村上隆昭
令和2年度黒石市一般会計歳入歳出決算認定	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度黒石市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

10人が市政を問う

第3回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が自ら作成し、掲載しています。内容等で御不明な点は、議員に直接お尋ねください。
また、黒石市議会ホームページでは、会議録の公開を行っております。一般質問の内容はPDFファイルで御覧になれます。

携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



三上 廣大 議員
黒石市民倶楽部

一問一答方式

問 中学校完全給食化へ向けた当市の考えについて

答 中学校の完全給食化については今後の検討課題となっており、本市の財政状況を踏まえた上で最も適した実施方法や実施時期について、来年度から調査・研究に着手したいと考えています。

問 市民プールについて、新型コロナウイルス感染症対策として実施している整理券配布を、当日ではなく事前配布にすることはできないか

答 来年度も新型コロナウイルス感染症が収束していない場合を想定して、指定管理者である公益財団法人黒石市スポーツ協会と整理券の事前配布について協議していきます。



大久保朝泰 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 六郷小学校爆発事故の状況について

答 令和3年9月3日に第19回目の弁論準備手続があり、争点と証拠の整理が行われております。なお、次回の弁論準備手続は10月6日となります。

問 消防団員数の現状と準中型自動車免許導入の影響について

答 令和3年4月時点の団員数は、前年から37人減少して730人となっております。また、道路交通法の改正により、平成29年3月12日から普通自動車免許で運転できる自動車の車両総重量が3・5トン未満とされました。これに伴い、一部の消防部において、将来的に消防団活動に支障が生じるおそれがあるため、必要な措置を講じていかなければならないと考えているところです。



大平 陽子 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 当市のマイナンバーカードの交付状況について

答 8月1日現在、当市の交付状況は8703枚(26・3%)であり、県内10市の中では最下位となっております。普及促進に向けて、公民館等出張申請受付などを実施していきます。

問 中学校の部活動について

答 市内2中学校には、それぞれ15ずつ部活動があり、国のガイドラインや県の方針に基づき、それぞれの部活動で活動日や活動時間を決めています。

問 当市のホームページに掲載する情報のチェック体制について

答 情報の掲載に当たっては、担当課長、広報情報システム課の職員及び課長の3段階でチェックしています。



大溝 雅昭 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 新型コロナウイルスワクチン接種対象者の接種率と、若年層のワクチン接種率向上について

答 9月10日時点で1回目54・7%、2回目44・7%です。希望者への2回目接種は10月末までに終了することを目標としています。若年層の接種率向上のため、受入体制の充実とワクチンの有効性などの情報発信に努めます。

問 児童館と放課後児童クラブの統合による児童館廃止の影響は

答 対象とならない年齢層の遊び場としての機能が縮小されるため、居場所の確保と受入態勢の整備が課題だと捉えています。

問 その他の質問

- ・デルタ株に対する学校等の対策について
- ・市民プールの状況について
- ・フル・ベジ・フェスについて



中田 博文 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 ごみ袋の値段について、ごみ袋の売上げ約6000万円に対し、製造費約2000万円、販売手数料約600万円である。差益が約3400万円であることを踏まえれば、値下げできるのではないかと

問 ごみ袋の値段については、今後の当市の廃棄物排出量の推移や令和8年度のごみ処理広域化の動向を踏まえ、他自治体の取組も参考にしながら検討します。

問 ふるさと納税について、魅力ある返礼品をさらに増やせないか

問 新たにメロン「黄美香」、地酒、つゆやきそば等42点を加えました。

問 黒石産の米やりんごなどをより積極的に海外輸出するべき

問 寿司専米「ムツニシキ」や牡丹そば等を輸出品目として開拓することを課題としています。



工藤 俊広 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 お祝いボードの設置について

問 婚姻・出生届提出の際に利用できる撮影用お祝いボードの設置を検討します。

問 市民サービス施設完成までのタイムスケジュールについて

問 旧大黒デパートの解体が令和4年3月25日完了予定であり、新施設は市民の要望を反映させながら同年10月頃に契約を締結、令和6年3月に完成を予定しています。

問 商工観光イベントについて

問 中野もみじ山では昨年と同様、ライトアップ等の誘客を目的とした事業は行わないこととしました。黒石りんごまつりは感染状況を見ながら実行委員会が最終的な判断をすることになります。

問 その他の質問
・黒石病院の老朽化について



黒石ナナ子 議員
新自民・公明クラブ

一括方式

問 市民や近隣住民を対象とした体験型観光について

問 新型コロナウイルス感染症収束後は、従来の観光地への訪問のみならず、五感で楽しむ体験型観光の需要も増えるものと期待しています。クランピオニー津軽と連携し、体験型観光プログラムの情報発信、売り込みに取り組みます。

問 観楓台への不動館跡の案内板について

問 戦国時代の城跡といわれる不動館があった観楓台への案内板は、歴史的背景の考察を深め、正確な情報を表記できるよう調査していきます。

問 その他の質問
・中野もみじ山周辺の整備について





北山 一衛 議員
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 市内の山地災害危険地区の現状把握と今後の対応について

答 当市の地域防災計画で指定している山地災害危険地区は、山崩壊危険地区が20か所、崩壊土砂流出危険地区が48か所、地すべり危険地区が5か所、上流に盛土がある危険な箇所は市内では確認されていません。今後も、危険箇所の情報を共有し適切な対応に努めていきます。

問 当市の水道事業等の会計について

答 簡易水道事業会計は単年度赤字で、単体で運営していくことが難しい状況にあり、水道事業の一元化を検討しています。

その他の質問
・ 当市の選挙について



工藤 和行 議員
黒石自民クラブ

一問一答方式

問 当市の財政、財政調整基金（市の貯金）の今後の見込みについて

答 今年度は今後除雪等による取崩しが必要で、年度末残高が16億2000万円になる見込みです。令和4年度以降は、市民サービス施設建設事業など大型事業の財源として基金の半分以上を取り崩す予定とされているので、大型事業が終了するまでは減少していく見通しです。

問 黒石市まちなかエリアリノベーションプランの実施を踏まえて、今後の財政はどうなるのか

答 財政のシミュレーションとして、市庁舎などのまちなかエリアリノベーションプランをはじめ、市立図書館建設事業など大型事業に関しては補助事業を中心に考えています。



工藤 禎子 議員
日本共産党

一問一答方式

問 中学校の完全給食実施の計画は

答 実施方法や実施時期については、来年度から調査研究に着手します。その過程の中で計画が決まってくるものと考えています。

問 高校生までの医療費無償化を

答 今年4月から、中学生まで医療費無償化を拡充していますが、経費の動向を注視していく必要があります。ことから現時点での計画はありません。

問 補聴器購入に対する補助制度を

答 18歳までの児童生徒に対する助成制度の周知を図ると同時に、加齢性難聴者への助成制度は全国的に共通の課題であることから、国や他の自治体の動向を注視し、検討していきます。

総務教育常任委員会活動報告

10月13日、総務教育常任委員会は、空き校舎の利活用の現状を把握するため旧追子野木小学校と旧北陽小学校の視察を行いました。

旧追子野木小学校では、公民館及びりんごクラブとして活用する部分の工事の進捗状況を確認し、12月17日に完成の見込みと説明を受けました。また、スクールバスの回転場所や駐車スペースについても確認しました。

旧北陽小学校では、避難場所と防災備品の備蓄状況を視察しました。避難場所を体育館に設置していますが、コロナ禍で収容人数を制限しなければならない状況にあることなどの説明を受けました。



旧追子野木小学校視察の様子

総務大臣感謝状贈呈

令和3年10月、35年にわたり市議会議員として地方自治の発展に尽くした功勞により、中田博文議員へ総務大臣から感謝状が贈呈されました。



感謝状を受けた中田博文議員

その他の委員会活動について

9月14日 経済建設常任委員会

・大川原地区の棚田について

現状の把握と、棚田振興のための今後の方策、維持管理の問題点、棚田米のブランド化について意見を交わしました。

・旧大黒デパートの解体工事について

工事の進捗状況、埋設されていくの取扱やアスベスト撤去の状況などについて確認しました。

・市立図書館建設工事の進捗状況について

工事の進捗状況、今後のスケジュールを確認しました。地中障害物による工期の遅れについてや、建設計画に変更はないかなどについての意見が出されました。

編集後記

任期の折り返しを迎え、議会だより編集特別委員会も改選となりましたが、任期後半も所属することとなりました。副委員長として、議会活動を市民の皆さんに分かりやすくお伝えできるように、紙面づくりを工夫して、1人でも多くの市民の皆さんに手に取ってもらえる・読んでもらえるように心がけていきます。

コロナ禍ではありますが、議場も感染症予防対策をしていますので、是非傍聴にもお越しください。

(大平 陽子)

議会だより 編集特別委員会

委員長	大溝 雅昭
副委員長	大平 陽子
委員	今 大介
〃	黒石ナナ子
〃	後藤 秀憲
〃	工藤 禎子